

市長訓示

- 避難者の方々が次のステップへと進み、災害対応も次のフェーズに移行しています。それに伴い、被害の状況が見えにくくなっていますので、一層注意して被災者の状況把握に努めていただく必要があります。
- 熊本地震の際も、住まいの再建に最後まで取り組みました。公営住宅やみなし仮設、建設型仮設等に入居されている方々の見守りを、引き続きお願いします。
- 支え合いセンターの職員確保に苦慮されており大変だとは思いますが、今いる人員でどこまで対応できるかを工夫し、協議しながら進めていきたいと思っています。
- 一昨日、熊本阿蘇地方で大きな地震がありました。9年前の熊本地震の活動がまだ完全には収束していない可能性があり、その影響で日奈久断層帯が刺激され、この八代でいつ大地震が起きてもおかしくない状況です。日頃からそういった気持ちで臨んでいくことが必要だと感じていますので、その認識を皆さんとも共有できればと思います。
- また、11月18日から20日にかけて、8月の大雨からの復旧・復興に関する予算の確保に向けた政府要望を行いました。国交省の金子大臣にも直接お会いし、要望を伝えてきました。今後も国・県と連携し、必要な予算の確保に向けて努力するとともに、1日も早い復旧・復興を進めていきたいと考えていますので、各部長の皆様にもご協力をお願いします。
- 冒頭で申し上げたとおり、被災したまちの状況や避難所は解消に向かっています。これからは我々の意識をより高めて、取り残された方がいないか注視していただきたいと思っています。